



岩手労働局発表
平成26年4月16日

【照会先】
岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 安倍 賢
主任安全専門官 村井 雄亮
(電話) 019-604-3007

平成25年(確定値)及び平成26年(3月)の労働災害発生状況

～平成25年の死傷者数は、前年比91人(6.7%)増加～

～平成26年(3月)の死亡労働者数は、前年同期比9人増加～

岩手労働局(局長 弓 信幸)は、平成25年(確定値)及び平成26年3月(速報値)の県内の全業種における労働災害による死傷者数及び死亡者数の状況を取りまとめました。

平成25年の死傷者数は前年と比べ91人(6.7%)の増加、同年の死亡者数は19人と、前年と比べ3人の増加となっています。

また、本年3月末現在における平成26年の死傷者数は前年同期比で41人(12.1%)の減少となっていますが、死亡者数は既に12人(3月31日現在)となっており、前年同期比で9人の増加と多発しています。

岩手労働局では県内の労働災害が平成22年以来4年連続で増加しており、今年に入ってから死亡者数が多発していることから、平成26年度の岩手労働局行政運営方針においては、特に労働災害が多発している業種に対する労働災害防止対策を最優先課題として重点的に取り組むこととしています。

なお、本年4月18日には、主要労働災害防止団体、経済団体、労働団体を招致した「死亡労働災害防止推進会議」を開催(別に広報)し、労働災害の防止に向け、関係団体との連携を一層強化することとしています。

(業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。)

平成25年1月から12月末までの労働災害発生状況（確定値）

1 死傷災害（休業4日以上） 【表1】【グラフ1】

（1）全業種合計

全業種合計の死傷者数は1,458人（確定値）で、前年と比べ91人（6.7%）増加となっています。

（2）業種別の状況

前年と比べ増加した業種は、増加数が多い順に、建設業302人（前年同期比+47人、18.4%）、保健衛生業119人（同+30人、33.7%）、その他業種141人（同+18人、14.6%）、通信業47人（同+16人、51.6%）、商業199人（同+14人、7.6%）、運輸交通業154人（同+14人、10.0%）となっています。

なお、その他業種の主な業種は、教育研究業、清掃業、警備業です。

前年と比べ減少した業種は、製造業279人（同-29人、-9.4%）、畜産水産業57人（同-20人、-26.0%）、農林業77人（同-10人、-11.5%）となっています。

（3）事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、330人（22.6%）となっています。次いで、「墜落・転落」によるものが、252人（17.3%）、「はさまれ、巻き込まれ」178人（12.2%）の順となっています。

2 死亡災害 【表1】、【表2】

（1）全業種合計

全業種合計の死亡者数は19人で、前年と比べ3人増加となっています。

（2）業種別の状況

業種別では、建設業が4人と最も多く、商業（小売業）、農林業が各3人、その他の業種（産業廃棄物処理業、その他の教育研究業）、畜産水産業、運輸交通業が各2人、鉱業（採石業）、製造業、保健衛生業が各1人となっています。

前年と比べると、製造業で3人、建設業で2人減少していますが、保健衛

生業及び商業では増減がなく、運輸交通業、農林業及び畜産水産業で各 2 人、鉱業及びその他の業種で各 1 人が増加しています。

(3) 事故の型別状況

「墜落・転落」が 5 人、「交通事故」が 4 人、「激突され」が 3 人、「飛来・落下」、「はさまれ・巻き込まれ」が各 2 人、「転倒」、「破裂」、「その他」で各 1 人となっています。

前年と比べると、「激突され」で 3 人、「墜落・転落」で 2 人、「飛来・落下」、「転倒」、「破裂」、「その他」で各 1 人増加しており、「交通事故」は増減がなく、「崩壊・倒壊」、「はさまれ・巻き込まれ」で各 2 人、「高温の物との接触」、「激突」で各 1 人減少しています。

平成 26 年 3 月の労働災害発生状況（平成 26 年 3 月末現在）

1 死傷災害（休業 4 日以上） 【表 3】【グラフ 2】

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は 298 人（速報値）で、前年同期比で 41 人（12.1%）減少となっています。

(2) 業種別の状況

前年同期比で増加した業種は、増加数が多い順に、接客娯楽業 16 人（同 + 8 人、100.0%）、運輸交通業 47 人（前年同期比 + 1 人、2.2%）となっています。

前年同期比で減少した業種は、商業 39 人（同 - 13 人、-25.0%）、その他の業種 27 人（同 - 10 人、-27.0%）、製造業 63 人（同 - 8 人、-11.3%）、建設業 51 人（同 - 7 人、-12.1%）、通信業 14 人（同 - 6 人、-30.0%）、保健衛生業 18 人（同 - 3 人、-14.3%）、農林業 14 人（同 - 1 人、-6.7%）、鉱業 3 人（同 - 1 人、-25.0%）、貨物取扱業 0 人（同 - 1 人、-100.0%）となっています。

(3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、98 人（32.9%）となっています。次いで、「墜落・転落」によるものが、55 人（18.5%）、「はさまれ、巻き込まれ」32 人（10.7%）の順となっています。

2 死亡災害 【表3】【表4】

(1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は12人(速報値)で、前年同期比で9人増加となっています。

(2) 業種別の状況

業種別では、商業が4人と最も多く、建設業が3人、その他の業種(教育研究業、清掃・と畜業、ビルメンテナンス業)が3人、運輸交通業、製造業が各1人となっています。

(3) 事故の型別状況

「墜落・転落」が5人、「交通事故(道路)」が4人、「激突され」が2人、「はさまれ・巻き込まれ」が1人となっています。

前年同期比では「墜落・転落」で5人、「交通事故(道路)」で4人、「激突され」で1人増加しており、「はさまれ・巻き込まれ」は増減がなく、「破裂」で1人減少しています。

平成25年 労働災害発生状況 【確定】

平成25年 1月～12月

岩手労働局

業 種		岩手局				盛岡	宮古	釜石	花巻	一関	大船渡	二戸
		25年	24年	増減数	増減率							
製造業	食料品	17	22	-5	-22.7%		2	3			9	3
	水産食料品	17	22	-5	-22.7%		2	3			9	3
	上記以外の食料品	75	85	-10	-11.8%	34	2	2	16	4	4	13
	繊維・衣服その他繊維製品	6	12 (3)	-6	-50.0%	2	1			3		
	木材・木製品、家具・装備品	44 (1)	44	0	0.0%	11	8		6	3	10 (1)	6
	パルプ・紙、印刷・製本	13	7	6	85.7%	4			3	6		
	化学工業	15 (1)	19	-4	-21.1%	3	1	3	6 (1)	1	1	
	窯業土石	20	15	5	33.3%	3		1	7	8		1
	鉄鋼業、非鉄金属	8	11	-3	-27.3%	1		1	5	1		
	金属製品	28 (1)	30	-2	-6.7%	9 (1)	1	2	9	6		1
	一般機械器具	16	20	-4	-20.0%	1		1	12	1		1
	電気機械器具	11	4	7	175.0%	4			5	2		
	輸送用機械製造	7	16	-9	-56.3%			1	2	2		2
	電気・ガス	0	2	-2	-100.0%							
その他の製造	19	21	-2	-9.5%	9		2	3	3		2	
小計	279 (3)	308 (3)	-29	-9.4%	81 (1)	15	16	74 (1)	40	24 (1)	29	
鉱業	6	3	3	100.0%	1		1	1	1	1	1	
建設業	土木工事	83 (15)	73 (5)	10	13.7%	16 (6)	12	12 (2)	10 (1)	10 (1)	17 (5)	6
	建築工事	38 (6)	38 (11)	0	0.0%	7	4	4	8	2	9 (3)	4 (3)
	鉄骨・鉄筋家屋	91 (2)	58	33	56.9%	21 (1)	7	10 (1)	25	8	10	10
	木造家屋	58 (3)	60 (2)	-2	-3.3%	20	5 (3)	8	14	6	2	3
	その他の建築工事	32	26 (2)	6	23.1%	9		2	4	9	2	6
その他の建設	302 (26)	255 (20)	47	18.4%	73 (7)	28 (3)	36 (3)	61 (1)	35 (1)	40 (8)	29 (3)	
小計	138 (7)	123 (6)	15	12.2%	61 (3)	4	1	39 (1)	22 (2)	4	7 (1)	
運輸交通業	16 (1)	17 (1)	-1	-5.9%	8	2		5 (1)	1			
道路貨物運送業	2	0	2		1		1					
その他の運輸交通業	16 (1)	17 (1)	-1	-5.9%	8	2		5 (1)	1			
貨物取扱	2	0	2		1		1					
農林業	農業	16	19	-3	-15.8%	5	3		4	3	1	
	林業	61	68	-7	-10.3%	10	10	8	5	10	4	14
畜産水産業	畜産業	42	54	-12	-22.2%	13		6	10	4	3	6
	水産業	15	23	-8	-34.8%		5	4			1	5
商業	小売業	160 (15)	133 (15)	27	20.3%	66 (7)	8	12 (1)	37 (3)	23 (3)	6 (1)	8
	その他の商業	39 (6)	52 (2)	-13	-25.0%	16 (1)	2	2	12 (3)	5 (1)		2 (1)
通信業	47 (29)	31 (18)	16	51.6%	18 (10)	1 (1)		16 (9)	5 (4)	1	6 (5)	
保健衛生業	社会福祉施設	85 (4)	72 (4)	13	18.1%	23 (1)	6	7	27 (2)	9	6 (1)	7
	その他の保健衛生業	34 (1)	17	17	100.0%	18 (1)	3	3	5	4		1
接客娯楽業	旅館業	26	15 (1)	11	73.3%	14	3		8	1		
	飲食店	33	28	5	17.9%	16	3	2	7	3	1	1
	その他の接客娯楽業	16	26 (1)	-10	-38.5%	9			4	1	2	
その他	ビルメンテナンス業	21	35 (1)	-14	-40.0%	14	1		4		1	1
	その他(上記以外の全ての業種)	120 (16)	88 (14)	32	36.4%	51 (4)	2	5 (1)	20 (2)	14 (3)	11 (4)	17 (2)
合 計	1,458 (108)	1,367 (86)	91	6.7%	498 (35)	96 (4)	104 (5)	339 (23)	181 (14)	106 (15)	134 (12)	
(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上のもの。					前年同期	486	84	119	297	180	80	121
数字は死亡者数(内数)、()数字は交通労働災害(内数)である。					増減数	12	12	-15	42	1	26	13
					増減率	2.5%	14.3%	-12.6%	14.1%	0.6%	32.5%	10.7%

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
1	二戸	商業 (燃料小売業)	2月23日	土	男	40	破裂	その他の装置、設備	凍結した水道管を解凍するため、解氷機(水蒸気を発生させて解凍する機械)をコンロで暖めていたところ、解氷機が突然破裂した。	
2	二戸	産業廃棄物処理業	3月23日	土	男	65	はさまれ・巻き込まれ	混合機・粉砕機	木屑を処理するクラッシャーの補修作業中、試運転のため電源を入れたところ、クラッシャー内部で溶接作業を行っていた労働者が巻き込まれた。	
3	宮古	林業 (木材伐出業)	3月26日	火	男	65	激突され	立木等	伐倒木の枝払い等を行っていたところ、伐倒木が斜面を転がり落ちてきて腰部に激突した。	
4	二戸	漁業	6月3日	月	男	67	飛来・落下	玉掛用具	定置網固定用の綱(重量400kg、約50個のブイを取り付けたもの。)を積載型移動式クレーンの荷台に積み込む作業中、吊っていた綱がクレーンのフックからはずれ、荷台で作業をしていた被災者に落下した。	
5	盛岡	運輸業 (一般貨物自動車運送業)	6月3日 (死亡当日)	月	男	43	その他	起因物なし	5月10日に車で帰宅途中、くも膜下出血を発症し、6月3日に死亡した。発症原因は過重な業務によるものとして労災認定された。	
6	一関	建設業 (道路建設工事業)	6月12日	水	男	21	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク	出張での作業を終え、会社に戻るため会社の自動車を運転していたところ、緩い右カーブで対向車線にはみ出し、ダンブトラックと衝突した。	
7	一関	採石業	7月11日	木	男	49	激突され	車両系建設機械	プラント内を歩行中に、整地作業でバックしてきたトラクタreshovelに轢かれた。	
8	一関	建設業 (木造家屋建築工事業)	8月5日	月	男	67	墜落、転落	はしご等	トタン屋根を設置する作業において、三脚梯子の8段目付近(高さ2.37m)に昇り、屋根上の作業者に釘を手渡した後、そのまま後ろ向きにコンクリート地面に墜落した。	民間
9	二戸	林業 (木材伐出業)	8月5日	月	男	54	飛来・落下	立木等	治山工事現場の斜面にて、ウインチで伐倒木を地引き集材していたところ、斜面上方から(前々日に伐倒した)伐倒木(直径15cm、長さ約6m)が滑落し、被災者の背部に落下した。	
10	花巻	商業 (家具・建具・じゅう器小売業)	8月7日	水	男	58	墜落、転落	はしご等	高さ約2.8mの位置にある店舗内の窓(縦180cm×横78cm)の拭き掃除中、脚立から墜落した。	
11	二戸	漁業	8月24日	土	男	56	激突され	その他の用具	沖合の海中に設置している定置網固定用の碇綱に付着した貝類の除去作業中、碇綱を船に引き寄せるため船と碇綱に掛けていた繊維ロープが突然切れ、切れたロープが被災者の胸部及び顎に激突した。	
12	大船渡	製造業 (その他の木材・木製品製造業)	9月9日	月	女	53	はさまれ・巻き込まれ	フォークリフト	構内を歩行中、後進してきたフォークリフトに轢かれた。	
13	盛岡	その他の医療保健業	9月12日	木	男	64	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク	出張での作業を終え、会社に戻るため会社の自動車を運転していたところ、対向車線にはみだし大型トラックと正面衝突した。	
14	釜石	建設業 (鉄骨家屋建築工事)	9月14日	土	男	61	転倒	その他の建設用機械	災害復興住宅建設工事において、被災者がランマ(締固め機械)を使用し転圧作業を行っていたところ、近くで作業を行っていた車両系建設機械のバケットがぶつかりそうになったため、被災者がバケットを避けようとして転倒した際、ランマのハンドルに腹部を打撲し、死亡した。	地方公
15	宮古	林業 (その他の林業)	10月28日	月	男	65	墜落、転落	地山、岩石	雑木の伐倒作業において、勾配約40度の斜面を滑落、作業道の端に墜落した後、さらに14m下の岩場に墜落した。	
16	花巻	商業 (新聞販売業)	11月10日	日	男	51	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク	新聞配達のため自動車を運転していたところ、右カーブ手前で自動車が道路外へ転落した。	
17	一関	建設業 (その他の建築工事業)	11月19日	火	男	65	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	一般住宅の屋根塗装の下準備として、2階屋根上で水滴を拭く作業中、高さ5.8mの屋根の端から地面に墜落した。	民間
18	盛岡	教育・研究業 (その他の教育研究業)	11月25日	月	男	52	墜落、転落	はしご等	脚立に上がり、高さ4.38mにある木の枝をノコギリで切っている途中、切ろうとした枝が折れた反動で脚立が倒れ、約2mの高さから地面に墜落した。	
19	一関	運輸業 (一般貨物自動車運送業)	12月9日	月	男	29	交通事故 (道路)	トラック	片側1車線の直線道路において、被災者が運転する大型トラックがセンターラインをはみ出し、反対車線を走行してきた大型トラックと正面衝突した。	

業種別	製造業 1人 (4人)	鉱業 1人 (0人)	建設業 4人 (6人)	運輸業 2人 (0人)	林業 3人 (1人)	商業 3人 (3人)	左記以外 5人 (2人)	合計 19 (前年同期 16)
監督署別	盛岡 3人 (6人)	宮古 2人 (3人)	釜石 1人 (0人)	花巻 2人 (2人)	一関 5人 (4人)	大船渡 1人 (0人)	二戸 5人 (1人)	
事故の型別	墜落・転落 5人 (3人)	転倒 1人 (0人)	飛来・落下 2人 (1人)	崩壊・倒壊 0人 (2人)	激突され 3人 (0人)	はさまれ・巻き込まれ 2人 (4人)	切れ・こすれ 0人 (0人)	
	おぼれ 0人 (0人)	高温の物との接触 0人 (1人)	激突 0人 (1人)	感電 0人 (0人)	破裂 1人 (0人)	交通事故 4人 (4人)	その他 1人 (0人)	

注：()内は前年同期

【表3】

労働災害発生状況（休業4日以上 の 死傷者数）

平成26年 1月～ 3月

岩手労働局

業 種		岩手局				盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
		26年	25年	増減数	増減率								
製造業	食料品	5	2	3	150.0%		1				2	2	
	水産食料品												
	上記以外の食料品	21	22	-1	-4.5%	11	1		1	3	1	4	
	繊維・衣服その他繊維製品	1	1	0					1				
	木材・木製品、家具・装備品	13	11 (1)	2	18.2%	1	3	1	2		3	3	
	パルプ・紙、印刷・製本	3	1	2	200.0%				1	2			
	化学工業	3	7 (1)	-4	-57.1%			1	1	1			
	窯業土石製品	3	1	2	200.0%		2			1			
	鉄鋼業、非鉄金属	2	2	0	0.0%								
	金属製品	2	9	-7	-77.8%				2				
	一般機械器具	4 (1)	6	-2	-33.3%			1	3				
	電気機械器具	1	2	-1	-50.0%					1			
	輸送用機械製造	2	3	-1	-33.3%				2				
	電気・ガス	0	1	-1	-100.0%								
その他の製造業	3	3	0	0.0%	2						1		
小計	63 (1)	71 (2)	-8	-11.3%	14	7	3	15	8	6	10		
鉱業	3	4	-1	-25.0%				1		1	1		
建設業	土木工事	21 (2)	15 (1)	6	40.0%	7	7	2	3	1	1		
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	5 (3)	10 (5)	-5	-50.0%	1			1		2	
		木造家屋	18	13	5	38.5%	8	2	3	1	3	1	
		その他の建築工事	4	14	-10	-71.4%	2			1	1		
	その他の建設	3	6	-3	-50.0%	1					1	1	
小計	51 (5)	58 (6)	-7	-12.1%	19	9	5	6	5	3	4		
運輸交通業	道路貨物運送業	35 (2)	39 (4)	-4	-10.3%	9	3	2	13	4	1	3	
	その他の運輸交通業	12	7	5	71.4%	11			1				
貨物取扱	0	1	-1	-100.0%									
農林業	農業	3	2	1	50.0%	1	1		1				
	林業	11	13	-2	-15.4%	4	2	1		1	1	2	
畜産水産業	畜産業	5	5	0	0.0%	1		1	2		1		
	水産業	1	1	0	0.0%						1		
商業	小売業	33 (6)	45 (2)	-12	-26.7%	18	4		5	2		4	
	その他の商業	6	7 (1)	-1	-14.3%	3	2					1	
通信業	14 (6)	20 (10)	-6	-30.0%	4		1	4	4		1		
保健衛生業	社会福祉施設	11	15 (1)	-4	-26.7%	3		1	5	1		1	
	その他の保健衛生業	7	6	1	16.7%	2			2	3			
接客娯楽業	旅館業	6 (1)	1	5	500.0%	2	1		1	2			
	飲食店	7	3	4	133.3%	5	1			1			
	その他の接客娯楽業	3	4	-1	-25.0%	3							
その他	ビルメンテナンス業	9 (3)	7	2	28.6%	8			1				
	その他（上記以外の業種）	18 (1)	30	-12	-40.0%	7	1		4	2	1	3	
合 計	298 (25)	339 (32)	-41	-12.1%	114	31	14	61	33	15	30		
(注)平成26年3月末の速報値である。						前年同期	114	18	24	83	38	26	36
数字は死者数（内数）、（ ）数字は交通労働災害（内数）である。						増減数	0	13	-10	-22	-5	-11	-6
						増減率	0.0%	72.2%	-41.7%	-26.5%	-13.2%	-42.3%	-16.7%

【表4】

平成26年 死亡災害発生状況(3月31日 現在)

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
1	花巻	商業 (新聞販売業)	1月9日	木	女	79	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	新聞配達中に道路を横断していたところ、軽貨物自動車に轢かれた。	
2	釜石	建設業 (土木工事業)	1月13日	月	男	55	墜落、転落	掘削用機械	ドラグ・ショベルで約1mの高さに積みあがった伐採材の上を走行したところ、ドラグ・ショベルのバランスが崩れ横転しそうになったため、ドラグ・ショベルから飛び降り(転落)、横転したドラグ・ショベルの下敷きになった。	国
3	盛岡	商業 (家具・建具・じゅう器小売業)	1月18日	土	男	23	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	自動車で行き中、凍結路面でスリップしセンターラインをはみ出し、バスと正面衝突した。	
4	盛岡	運輸交通業	1月25日	土	男	21	はさまれ・巻き込まれ	トラック	トラックの後進誘導を行っていたところ、電柱とトラックの間にはさまれた。	
5	宮古	清掃・と畜業	1月27日	月	男	62	墜落、転落	トラック	ゴミ収集用のトラックの荷台に労働者が乗ったまま走行中、労働者が荷台から道路に転落した。	
6	盛岡	商業 (その他の小売業)	1月29日	水	男	37	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	自動車で行き中、凍結路面でスリップしセンターラインをはみ出し、対向車と正面衝突した。	
7	宮古	建設業 (建築工事業)	2月8日	土	男	64	墜落、転落	はしご等	新築工事現場において、2階に置いてあった保護欄及び工具袋を取りに行くため、高さ2.7mの脚立を上っていたところ、脚立から転落した。	民間
8	盛岡	ビルメンテナンス業	2月11日	火	男	27	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	軽ワゴン車で走行中、圧雪状態でスリップし、対向車と正面衝突した。	
9	盛岡	建設業 (道路建設工事業)	2月27日	木	男	62	激突され	掘削用機械	道路整備工事現場において砂利を敷き均す作業をしていたところ、バックしてきたドラグショベルに轢かれた。	地方公
10	花巻	製造業 (機械器具製造業)	2月28日	金	男	40	激突され	旋盤	加工材を手で保持して旋盤作業を行っていたところ、保持していた加工材が激突した。	
11	一関	教育・研究業 (その他の教育研究業)	3月12日	水	男	67	墜落、転落	はしご等	ビニールハウスにビニールシートを貼り付ける作業中、高さ3mの三脚脚立から墜落した。	
12	盛岡	商業 (燃料小売業)	3月13日	木	男	53	墜落、転落	整地・運搬・ 積込用機械	トラクター・ショベルを使用して除雪作業中、トラクター・ショベルごと用水路に転落し下敷きになった。	

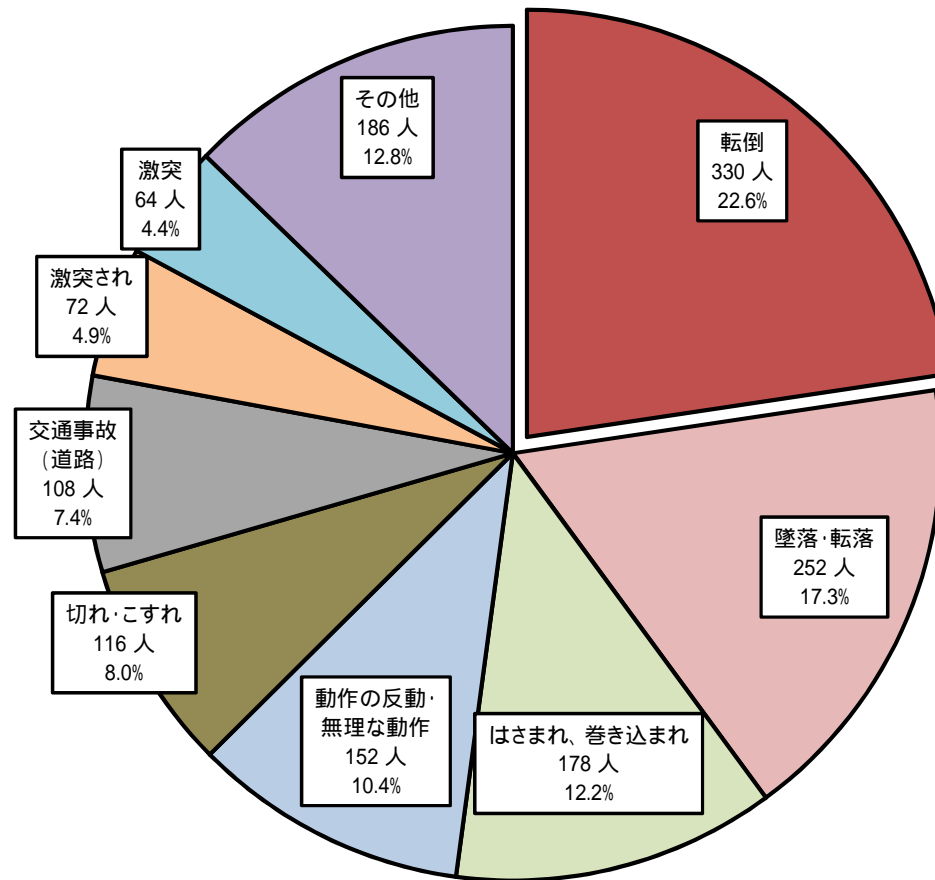
業種別	製造業 1人 (0人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 3人 (0人)	運輸業 1人 (0人)	林業 0人 (1人)	商業 4人 (1人)	左記 以外 3人 (1人)	12 (前年同期 3)
監督署別	盛岡 6人 (0人)	宮古 2人 (1人)	釜石 1人 (0人)	花巻 2人 (0人)	一関 1人 (0人)	大船渡 0人 (0人)	二戸 0人 (2人)	
事故の型別	墜落・ 転落 5人 (0人)	転倒 0人 (0人)	飛来・ 落下 0人 (0人)	崩壊・ 倒壊 0人 (0人)	激突され 2人 (1人)	はさまれ・ 巻き込まれ 1人 (1人)	切れ・ こすれ 0人 (0人)	
	おぼれ 0人 (0人)	高温の物 との接触 0人 (0人)	激突 0人 (0人)	感電 0人 (0人)	破裂 0人 (1人)	交通事故 4人 (0人)	その他 0人 (0人)	

注：()内は前年同期

【グラフ1】

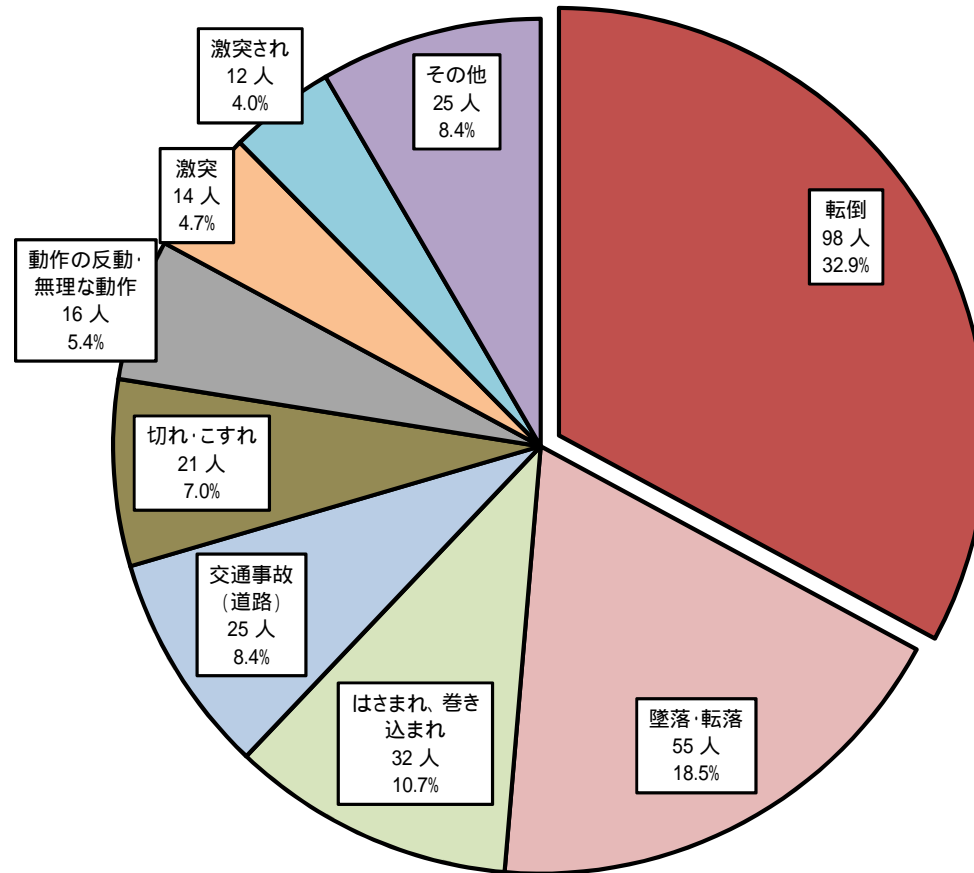
平成25年 労働災害発生状況（事故の型別）

岩手労働局



【グラフ 2】

平成26年 労働災害発生状況（事故の型別） 岩手労働局



平成25年 労働災害発生状況 【確定】

岩手労働局

業 種		25年計	24年	増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
製造業	水産食料品	17	22	-5	-22.7%	1		1	4		2	4	1		4			
	上記以外の食料品	75	85	-10	-11.8%	7	14	5	4	6	4	7	4	10	6	3	5	
	繊維・衣服その他繊維製品	6	12	-6	-50.0%	1	1		1	1				1	1			
	木材・木製品、家具・装備品	44	44		0.0%	5	3	4	5	5	5	4	3	4	1	5		
	パルプ・紙、印刷・製本	13	7	6	85.7%	1	1		2	1	2	1		1	2	1	1	
	化学工業	15	19	-4	-21.1%	5	2		1	1					2	3	1	
	窯業土石製品	20	15	5	33.3%		1	1	1	2	1	4	1	1	2	4	2	1
	鉄鋼業、非鉄金属	8	11	-3	-27.3%		2	1		1	1	2	1					
	金属製品	28	30	-2	-6.7%	3	6	1		2	2	1	2	1	4	1	4	3
	一般機械器具	16	20	-4	-20.0%	2	2	2		1	1	2	2			1	3	
	電気機械器具	11	4	7	175.0%	2		1	2	1	1	1				1	2	
	輸送用機械製造	7	16	-9	-56.3%	3	1						1					
	電気・ガス	2		-2	-100.0%													
その他の製造業	19	21	-2	-9.5%		2	3	2	1				3	1	3	2	2	
小計	279	308	-29	-9.4%	30	35	19	22	22	18	27	17	25	25	19	20		
鉱業	6	3	3	100.0%	2	1	1					1		1				
建設業	土木工事	83	73	10	13.7%	5	6	10	6	2	8	6	8	11	6	7	8	
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	38	38		0.0%	4	4	4	1	3	2	4	2	5	4	1	4
		木造家屋	91	58	33	56.9%	7	6	2	5	4	11	9	8	9	13	8	9
		その他の建築工事	58	60	-2	-3.3%	7	2	7	2	3	4	5	2	2	8	13	3
	その他の建設	32	26	6	23.1%	4	3	2	1	3	4	6	1	1	2	2	3	
小計	302	255	47	18.4%	27	21	25	15	15	29	30	21	28	33	31	27		
運輸交通業	道路貨物運送業	138	123	15	12.2%	14	18	15	7	7	8	11	9	9	14	6	20	
	その他の運輸交通業	16	17	-1	-5.9%	4	4	1		1	2	1				2	1	
貨物取扱	2	0	2		1					1								
農林業	農業	16	19	-3	-15.8%	2			2	1	1	3	1	2		1	3	
	林業	61	68	-7	-10.3%	4	6	4	3	8	8	5	3	3	5	6	6	
畜産水産業	畜産業	42	54	-12	-22.2%	2	2	3	3	4	1	5	5	2	2	6	7	
	水産業	15	23	-8	-34.8%	1					2	1	3	4	2	1	1	
商業	小売業	160	133	27	20.3%	27	22	14	5	7	7	15	18	7	9	15	14	
	その他の商業	39	52	-13	-25.0%	5	4		4	4	3	3	5	5	3	2	1	
通信業	47	31	16	51.6%	13	6	3	2	2	2	3			3	3	4	6	
保健衛生業	社会福祉施設	85	72	13	18.1%	12	12	6	6	4	6	7	5	2	7	8	10	
	その他の保健衛生業	34	17	17	100.0%	5	1	2	1	4	1	2	2	3	7	1	5	
接客娯楽業	旅館業	26	15	11	73.3%	1	3	4	1	2	5	2	3		1	3	1	
	飲食店	33	28	5	17.9%	2	1	1	3	4	2	3	5	2	4	1	5	
	その他の接客娯楽業	16	26	-10	-38.5%	2	2	2		3	2		1	1	1	1	1	
その他	ビルメンテナンス業	21	35	-14	-40.0%	5		5	2		2	1	4		1		1	
	その他(上記以外の業種)	120	88	32	36.4%	15	13	8	10	10	14	7	8	10	6	11	8	
合 計	1,458	1,367	91	6.7%	174	151	113	86	99	113	127	110	107	123	118	137		

(注)：労働者死傷病報告による休業4日以上のもの。

数字は死亡者数(内数)、()数字は交通労働災害(内数)である。

平成26年 労働災害発生状況 (平成26年3月末現在)

岩手労働局

業 種		26年計	25年	増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
製造業	水産食料品	5	2	3	150.0%		2	3									
	上記以外の食料品	21	22	-1	-4.5%	10	10	1									
	繊維・衣服その他繊維製品	1	1		0.0%		1										
	木材・木製品、家具・装備品	13	11	2	18.2%	6	5	2									
	パルプ・紙、印刷・製本	3	1	2	200.0%	1	1	1									
	化学工業	3	7	-4	-57.1%		1	2									
	窯業土石製品	3	1	2	200.0%	2	1										
	鉄鋼業、非鉄金属	2	2		0.0%	1	1										
	金属製品	2	9	-7	-77.8%	1	1										
	一般機械器具	4	6	-2	-33.3%	1	3										
	電気機械器具	1	2	-1	-50.0%	1											
	輸送用機械製造	2	3	-1	-33.3%		1	1									
	電気・ガス		1	-1	-100.0%												
	その他の製造業	3	3		0.0%		3										
小計	63	71	-8	-11.3%	23	30	10										
鉱業	3	4	-1	-25.0%	2		1										
建設業	土木工事	21	15	6	40.0%	9	6	6									
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	5	10	-5	-50.0%		3	2								
		木造家屋	18	13	5	38.5%	6	7	5								
		その他の建築工事	4	14	-10	-71.4%	1	1	2								
	その他の建設	3	6	-3	-50.0%		1	2									
小計	51	58	-7	-12.1%	16	18	17										
運輸交通業	道路貨物運送業	35	39	-4	-10.3%	14	11	10									
その他の運輸交通業	12	7	5	71.4%	5	5	2										
貨物取扱		1	-1	-100.0%													
農林業	農業	3	2	1	50.0%	2	1										
	林業	11	13	-2	-15.4%	8	3										
畜産水産業	畜産業	5	5		0.0%	2	2	1									
	水産業	1	1		0.0%		1										
商業	小売業	33	45	-12	-26.7%	19	9	5									
	その他の商業	6	7	-1	-14.3%	2	2	2									
通信業		14	20	-6	-30.0%	7	5	2									
保健衛生業	社会福祉施設	11	15	-4	-26.7%	2	7	2									
	その他の保健衛生業	7	6	1	16.7%	4	2	1									
接客娯楽業	旅館業	6	1	5	500.0%	3	2	1									
	飲食店	7	3	4	133.3%	1	6										
	その他の接客娯楽業	3	4	-1	-25.0%	1	2										
その他	ビルメンテナンス業	9	7	2	28.6%	3	6										
	その他(上記以外の業種)	18	30	-12	-40.0%	6	9	3									
合 計	298	339	-41	-12.1%	120	121	57										

(注) 平成26年3月末の速報値である。

数字は死亡者数(内数)である。